

Dr. 板東のメディカルリサーチ No. 210

〈ビジョンあり ミッション進める パッションで〉

あなたにとってのビジョンとは？ テレビ(television)とは、映像や音声を離れた場所で再現する機器。ビジョン(vision)とは目に見えるもの、視覚を意味する。日常的には「将来の展望」を尋ねる際に使われてきた。本来visionとは、視覚で感じてはいるが、幻や幻視、幻影、夢想、空想というように、実際には見えないものも包含している。机の上にある本やPCなどは形があり手で触れられる実像だ。一方、PC画面に映っているのは、現在・過去・未来すべての時空を超えた虚像ともいえよう。

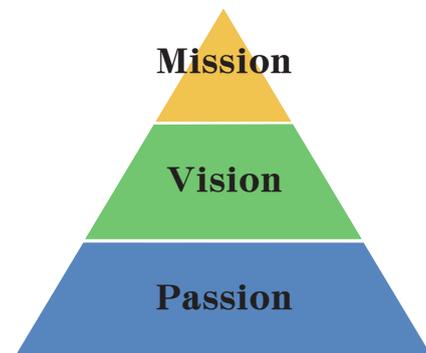
◆語ろうよ 今後のビジョン どうなるか

いまや世界も日本も混沌とした状況にある。国際的な平和の維持、経済の発展、人々の暮らし、健やかな心身の維持などがポイントとなる。SGDsには持続可能な未来へ向けた取り組みが要約されているので、考えるヒントになろう。SGDsでは17の目標が設定されており、欧米のデジタル社会や言語ではよい方法だ。箇条書きに示す方法により、各項目が理解しやすくなる。一方、アナログ社会で発展してきた日本人は全体的な理解と適切なマネジメントが秀逸とされる。そこには社会の基礎である人間関係を円滑にできる技がある。個人や各組織、仕事の状況など各要素を把握した上で、すべてを包括してバランスよくまとめることができるだろう。今後、日本が国際舞台の場で果たす役割は大きいと思われる。



◆あのMission Impossibleは 可能なり

映画の題名[Mission Impossible]は、不可能な特命という意味だ。しかし、関連する人や組織、仕事を上手に調整し、わずかな点[']を入れるだけで、どんな任務や使命でも[I ' m possible]となるだろう。要は工夫である。人間学を基盤として、どんな専門領域でもチームワークにより、協働作業で問題を解決し展開していけそう。ビジョンとミッションを理解し、展開させていくには何が必要だろうか？



◆心身も 社会もPassion 将来へ

国際医学会などで、しばしば感じることもある。諸外国の発表者は常に情熱（パッション）をもって語り、行動・成果を出しているようだ。そのPassionの熱量が大きく、周囲に直に伝わっていく。知識・技能・態度・行動という流れの中で参考にしたい。

私が大好きなベートーヴェンのピアノソナタで「熱情（アパッショナータ、Apassionata）」が知られる。最も情熱が高まる部分の楽譜だ。当時、この曲は世間の人々の心を震わせ鼓舞したであろう。まだコロナ禍の影響がみられ、職場や家庭、趣味にパッションを感じ、実践している人は限られているかもしれない。



なお、Vision, Mission, Passionで行動する際、今後大切なポイントが価値(Values)である。つまり、「何のためか、誰のためか、妥当な方法か」などを常に考えておいてほしいと思う。誰もが自分の人生を大切に考えながら、いろいろとチャレンジしてほしいと祈っている。

(板東浩、ばんどうひろし、医学博士、糖尿病専門医、ピアニスト)